

だるまちゃんとてんぐちゃん

人形劇団どんぐり

— まとめ集 —



<堀川 晶 11才>

2017年 12月 2日(土) 14:30開演(上演60分)

コムズ 多目的室

◎鑑賞者数 59名 ◎招待 1名

◎参加率 41%

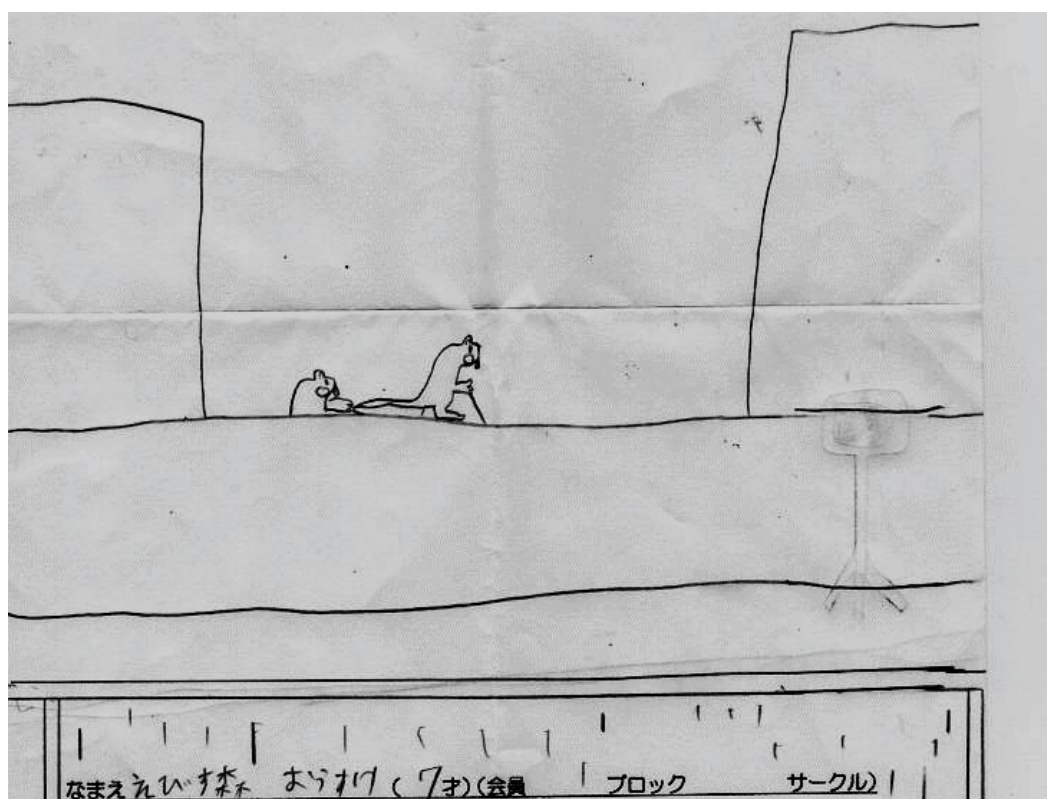
◎アンケート たいへんよかった 6名
よかった 1名

★最初の方の「わー」がおもしろかったです。

だるまちゃんとてんぐちゃんもとてもおもしろかったです。

また見たいと思います。

堀川 晶 11才



★だるまちゃんが、もちつきで、お父さんにきねで手をつかれるところがおもしろかったです。

ほかにも、だるまちゃんが、てんぐちゃんのを真似するために、家で探す場面は全部おもしろかったです。

戎森かな 12才



<戎森かな 12才>

★いろんなものをだしておもしろかったです。

名無しさん

★だるまちゃんがてんぐちゃんのマネをするのがおもしろかったです

堀川 睦

7才



★「だるまちゃんとてんぐちゃん」の絵本は大好きで、どんな人形劇になっているのか楽しみながら観させてもらいました。

お父さんだるまに頼りながらも、思うものがなければある物で代用するだるまちゃんの姿を今の子ども達は、どう受け止めたのでしょうか。

これからの子ども達には、だるまちゃんのように豊かな発想力で自分だけの宝物を見つけてほしいなあ…

戎森 まどか 大人



《 舞台鑑賞部から 》

舞台鑑賞事業部

木村 英理子

ほのぼのと落ち着いた感じが漂う例会でした。しかし原作の「だるまちゃんとてんぐちゃん」が50年前に作られた作品ということもあり、大人は知っている子どもたちへの認知度はどれくらいだったのだろうか、ふだん聞き慣れない言葉も含まれており脚本の中に盛り込まれているとわかりやすくなるのでは、などの感想も上がりました。

今回の作品はどちらかといえば大人受けする作品だったかもしれません。そのぶん観客の目が肥えていたようで、「もっと技術面もアピールした方が良かったかも」「全体的に慌ただしい感じがあり、いろんな面で余裕が欲しかった」という意見が出ていました。

担当ブロックからは、「久しぶりに例会の手伝いをしたが、舞台裏の様子や演じ手の汗も見聞きすることができてよかった。」という声が寄せられました。大人が親しみを覚えた例会だから、とう訳ではないようですが、劇団へのプレゼントはお菓子に加えて「ビール!」でした。



《 当番ブロックから 》

小町ブロック ブロック長 永山 真理子

最近子どもが少なくなってきたこまちブロックですが、挨拶やもぎりを担当してくれた小学生の人たちは、自分たちで相談してしっかり役割を果たしてくれました。見ていてとても頼もしく感じました。

今回の当番は、どんぐりさんのお気遣いで小夜食や打ち合わせは不要とのことでした。昼間の公演ということもあって、昼頃に集まり、夕方には解散という短めのお手伝いです。気持ちに余裕があったためか、いつもよりも観劇に浸ることができた気がします。プレゼントには、ビールとおつまみを選びました。一仕事終えて美味しいお酒を飲んでもらえたかな…？

事前ブックトークを開催しました

講師 木村英理子

11月12日(日) 10:30~11:30 コムズ 和室

今回は「だるまちゃんとてんぐちゃん」を中心にしました。
原作者 加古里子（かこさとし）さんの人物像を掘り下げ、とても良いブックトークとなりました。1968年~1996年までの6作品を読んで、長く愛される作品の本質を感じ取ることができました。

